

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 負荷変動・追従制御性								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御								
3 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能								3.8
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1 耐震性								
2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
6 主要設備機器の更新必要間隔								
	主要な用途上位3種の2種以上に一般配管用ステンレス鋼管。							

2.4 信頼性			3.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具の利用、災害時の使用不能部分の低減。	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用電源あり、電源設備・精密機械の地下空間設置を避ける。	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	複数の通信網(PHS、携帯)、精密機器の親水の危険性なし。	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.6	0.48	-	-	4.6
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	3.9m以上。	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比<0.1。	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		3,500N/m ² 以上 - 4,500N/m ² 未満。(事務3,500N/m ²)	5.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			4.4	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	天井スペース確保により、仕上・構造部材傷めず更新・修繕可能。	4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めず配管の更新・修繕が可能。	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材だけでなく、仕上材を痛めず更新・修繕可能。	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上材を痛めず更新・修繕可能。	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	更新用ルト、ハッチあり、修繕時に建物機能を維持。	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	バックアップのスペース計画的に確保。	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		工場内の照明設備は概ねLED照明とした。	4.4	0.43	-	-	4.4
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=23.4%	4.4	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4 効率的運用			4.0	0.29	-	-	4.0
4.1	モニタリング	主要な設備のシステム効率の評価を行い、性能の評価が行える。	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.6	0.15	-	-	3.6
1.1	節水	主要水栓に節水コマ+省水型機器(節水便器)。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	雑排水(再生水、一種類)を利用している。	4.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上が容易に分離可能。	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ビニル床タイル、シール、塗膜防水、塗り床等、9品目。	5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		排出率92%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車スペース確保、駐車場の導入路の位置、形状に配慮している。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの減量化を行っている。	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	総合効率の高い照明、漏れ光、光の性質に考慮。	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	